

# 総務教育常任委員会資料

(令和3年12月17日)

## 【項目】

ページ

1 広島県・兵庫県・島根県との知事会議の開催結果について

【総合統括課】・・・2

2 全国知事会の動きについて(地方創生担当大臣等との意見交換会)

【総合統括課】・・・4

令和新時代創造本部

# 広島県・兵庫県・島根県との知事会議の開催結果について

令和3年12月17日

総合統括課

新型コロナウイルス変異株であるオミクロン株の国内感染事例の発見を受けた対応や国の経済対策を踏まえた隣県との観光連携の在り方について協議をするため、広島県、兵庫県及び島根県と両県知事会議を開催し、意見交換を行いましたのでご報告します。

## 1 鳥取・広島両県知事会議 (WEB)

- (1) 日時 令和3年12月3日(金) 午前10時から10時30分まで
- (2) 場所 WEB開催
- (3) 出席者 湯崎広島県知事、平井鳥取県知事
- (4) 概要

以下の項目について意見交換を行い、連携方針を確認し、今後に向けた両県の合意事項としてとりまとめた。

### ○新型コロナウイルス感染症対策

- ・オミクロン株をはじめとした新たな変異株の感染拡大を阻止するため、情報共有を密に行います。

### ○地域公共交通の維持

- ・JRへの働きかけもふくめ、新型コロナウイルスにより影響を受けた地域交通ネットワークの維持・回復に向けた取組を鳥取・広島両県連携により進めます。

### ○観光振興に向けた連携強化

- ・コロナ禍で疲弊した両県観光業の需要回復を目指して、感染拡大防止を図りつつ、鳥取・広島両県連携による相互誘客に向け検討を進めます。

## 2 兵庫・鳥取両県知事会議 (WEB)

- (1) 日時 令和3年12月3日(金) 午後1時15分から1時40分まで
- (2) 場所 WEB会議
- (3) 出席者 齋藤兵庫県知事、平井鳥取県知事
- (4) 概要

以下の項目について意見交換を行い、連携方針を確認し、今後に向けた両県の合意事項としてとりまとめた。

### ○新型コロナウイルス感染症対策

- ・オミクロン株をはじめとした新たな変異株の感染拡大を阻止するため、情報共有を密に行います。

### ○地域公共交通の維持

- ・JRへの働きかけも含め、新型コロナウイルスにより影響を受けた地域交通ネットワークの維持・回復に向けた取組を兵庫・鳥取両県連携により進めます。

### ○観光振興に向けた連携強化

- ・コロナ禍で疲弊した両県観光業の需要回復を目指して、感染拡大防止を図りつつ、兵庫・鳥取両県連携による相互誘客に向け検討を進めます。
- ・山陰海岸ジオパークの活性化など、両県が連携して、さらに地域資源を磨き、国内外への発信に取り組みます。

### 3 山陰両県知事会議 (WEB)

- (1) 日 時 令和3年12月10日(金) 午後5時10分から5時40分まで
- (2) 場 所 WEB 会議
- (3) 出席者 丸山島根県知事、平井鳥取県知事
- (4) 概 要

以下の項目について意見交換を行い、連携方針を確認し、今後に向けた両県の合意事項としてとりまとめた。

#### ○高病原性鳥インフルエンザ対策

- ・家禽や野鳥での発生状況の情報共有と、人的及び物資の相互支援に努めます。

#### ○新型コロナウイルス感染症対策

- ・オミクロン株をはじめとした新たな変異株の感染拡大を阻止するため、情報共有を密に行います。

#### ○地域公共交通の維持

- ・JRへの働きかけも含め、新型コロナウイルスにより影響を受けた地域交通ネットワークの維持・回復に向けた取組を山陰両県連携により進めます。

#### ○#WeLove 山陰キャンペーンの延長について

- ・コロナ禍で疲弊した両県観光業の需要回復を目指して、感染拡大防止を図りつつ、事業期間を令和4年1月31日まで延長します。

## 全国知事会の動きについて（地方創生担当大臣等との意見交換会）

令和3年12月17日

総合統括課

令和3年12月8日(水)に国の地方創生施策に関する国と地方6団体との意見交換会が開催され、平井知事が全国知事会長として出席し、人口減少、少子高齢化等地方が抱える諸課題の解決に向け担当大臣との意見交換を行いました。

1 日時等 令和3年12月8日(水) 17:50～18:35（リモートで出席）

2 出席者

（政府）野田聖子地方創生担当大臣、若宮健嗣デジタル田園都市国家構想担当大臣

（地方6団体）全国知事会長（平井知事）ほか地方6団体代表者

3 開催概要

コロナ禍による地方回帰の流れを確実なものとし岸田文雄総理が掲げる成長戦略を実現するため、デジタル化など地方への流れを生み出す対策、子ども政策、女性活躍推進などについて意見交換を実施した。

<主な発言>

（全国知事会（平井知事））

○コロナ禍を経験し首都圏の若者を中心に地方回帰が目立つようになり、デジタルを使った地方の改革は大いに賛同。デジタル実装は地方部から強力に推し進め、都市部と地方の情報基盤の格差や人材の偏りなど解消し、事業者育成を行っていただきたい。その実現のための交付金は使い勝手の良いものとして運用いただきたい。

○こども庁設置や、チルドレンファーストなども地方移住に十分貢献する。道筋をしっかりとつけていただきながら、地方創生やデジタル田園都市国家構想の実現につなげていただきたい。

○これら施策の予算編成や制度設計にあたっては、地方側とコミュニケーションをよくとりながら進めてほしい。

（野田大臣）

○ポストコロナの地方回帰の流れにあっても引き続きサテライトオフィスやテレワーク等の推進は必要不可欠。働き方の主軸として企業・経済団体の意識改革が大事。

○これからはものより人への投資が必要。実際に地方の現場を盛り上げていく人へ支援が届く仕組みへの変革や、男女問わず能力をしっかりと活かせる場所を東京でも地方でも作っていただくことが大事。

○子どもを安全安心に育てられる医療や教育の基盤を整えることが大切で、地方の特化した取組などを応援したい。こども庁に関しては地方と国が同じ目線で、国民皆で取り組める施策を一緒に考えていきたい。

（若宮大臣）

○自由度の高い予算の使われ方、人材育成、ハード面整備など皆様からの意見はしっかり承った。

○それぞれの地域の特性や強みをさらに強く出せることが非常に大きなポイント。全国のみならず、国際社会へも発信できるようなデジタル田園都市国家構想に整えていきたい。